

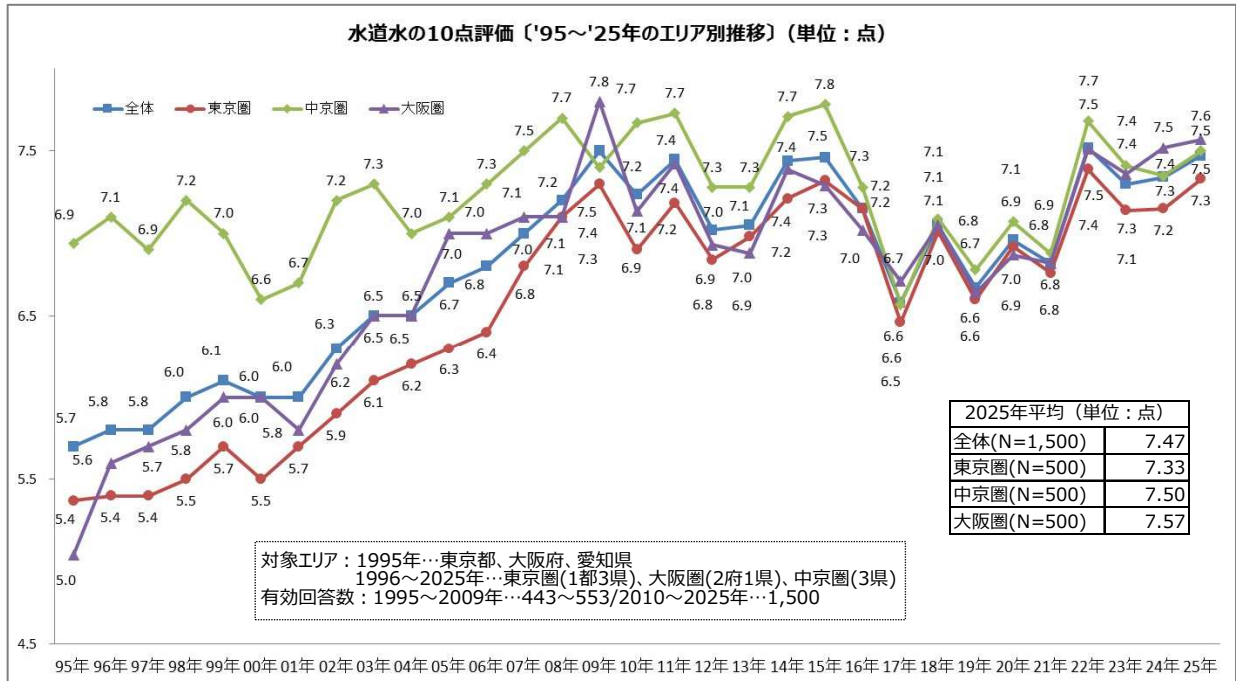
水道水に関する意識

Q.水道水を10点満点で評価すると？（0～10の整数を自由回答）

◇全体の平均点は7.47点

大阪圏が7.57点で昨年に続きエリア別トップ

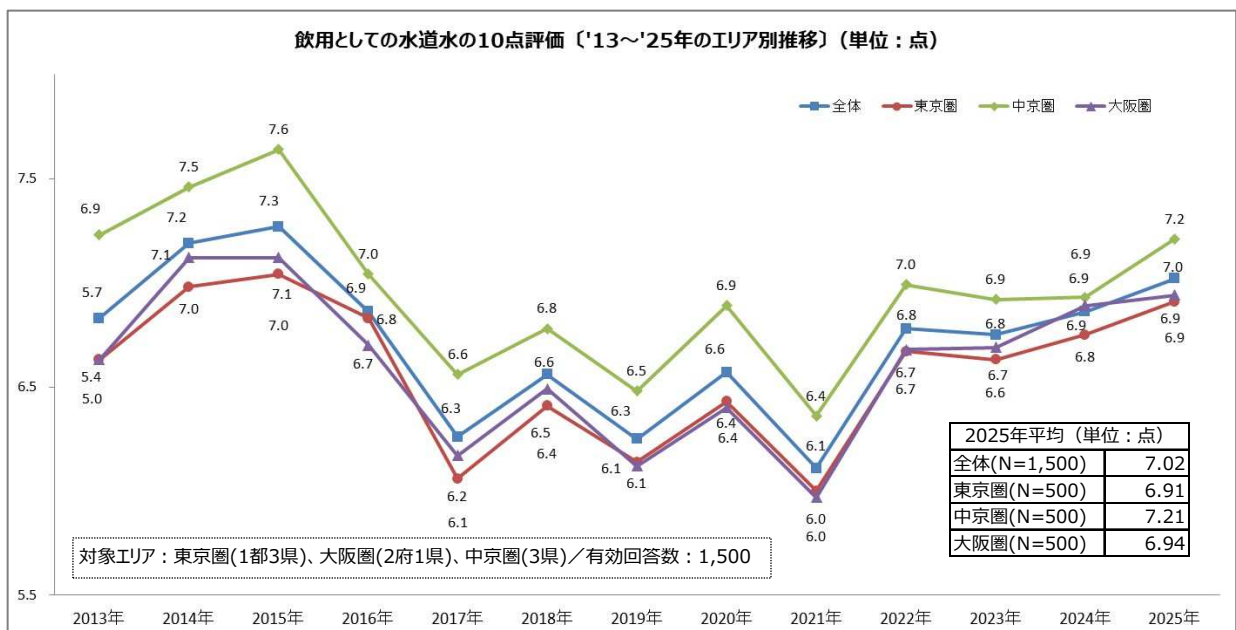
水道水の10点満点評価は、全体の平均が昨年比0.13ポイント増の7.47点でした。これは、2022年の7.52点、2009年の7.50点に次いで過去3番目に高い点数となります。居住地別では、東京圏が昨年比0.18ポイント増の7.33点、中京圏が同0.15ポイント増の7.50点、大阪圏が同0.05ポイント増の7.57点となり、大阪圏が昨年に続いてのトップでした。



Q.水道水を飲用水として10点満点で評価すると？（0～10の整数を自由回答）

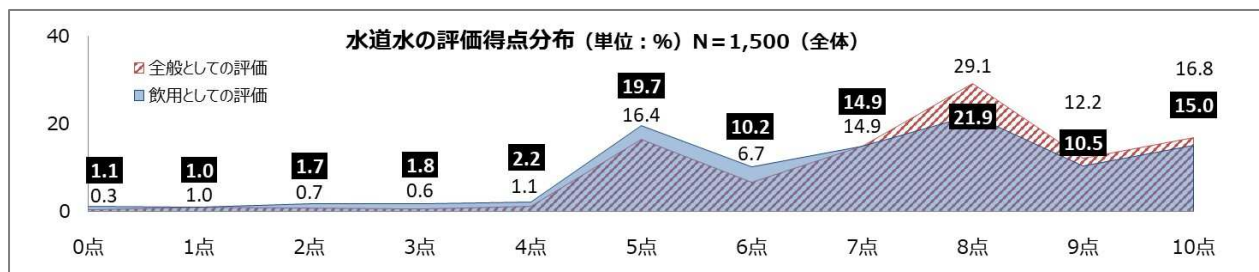
◇全体の平均点が2015年以来的7点台

飲用目的に限定した水道水の10点満点評価は、全体の平均が昨年比0.16ポイント増の7.02点で、2015年以来的7点台となりました。居住地別では、中京圏が昨年比0.28ポイント増で3エリア唯一の7点台となる7.21点、東京圏が同0.16ポイント増の6.91点、大阪圏が同0.05ポイント増の6.94点でした。



【水道水への評価】

全般的な水道水の評価は昨年の7.34点から今年は7.47点に、飲用としての水道水の評価も昨年の6.86点から今年は7.02点に増加しており、満足度が増している様子がうかがわれる。ただし、回答分布を見ると、全般的な評価では10点満点で8点と答えた人が29.1%で最も多く、次が10点の16.8%、僅差で5点が16.4%となっているのに対し、飲用としての評価ではやはり8点が21.9%でもっとも多いが、次は5点の19.7%、10点は15.0%で7点の14.9%と大差ない。飲用としての水道の評価はやや厳しいことが読み取れる。



※白抜きは「飲用としての評価」の数値

Q.水道水について不満を感じていることは？ （8択＋その他＋特に不満はない）

◇半数近くが「不満なし」

「味」や「品質」への不満に地域差あり

水道水への不満については、近年、「特に不満はない」が5割に近い数値で推移しており、今年も48.6%と半数近くの人が回答しトップとなりました。2位（不満のトップ）は「水道料金が高い」（28.4%）、3位は「おいしくない」（14.5%）、4位「貯水槽や水道管が汚れているような気がする」（9.7%）、5位「臭いがある」（9.2%）と、これらも例年と同様の傾向でした。

居住地別でみると、「特に不満はない」（東京圏46.4%、中京圏51.8%、大阪圏47.6%）は、中京圏が3エリアで唯一の過半数超えとなりました。また、不満点については、「水道料金が低い」は東京圏28.6%、中京圏27.6%、大阪圏29.0%とあまり差異が見られなかったものの、「おいしくない」（東京圏19.0%、中京圏11.0%、大阪圏13.6%）や「臭いがある」（東京圏12.2%、中京圏7.2%、大阪圏8.2%）は東京圏がやや高く、「貯水槽や水道管が汚れているような気がする」（東京圏9.4%、中京圏7.6%、大阪圏12.2%）は大阪圏がやや高いなど、「味」や「品質」への不満に地域差が見られました。

